

# “水面実績”は石渡鉄兵が断然！ “格”ならGP戦士・池田浩二



石渡鉄兵



池田浩二



平尾崇典

格ではなく経験と実績が重要視される当地江戸川水面。「主役候補は誰？」でノータイムで名が挙がるのはまず地元・石渡鉄兵一択ではあるが…。当節の選手格という面ならぶつちぎりの池田浩二もやはり気になる主役候補の一人。当地戦は意外と出走歴は多く、過去19節走って8優出1Vの成績。ただ、17年の周年戦でFを切ったから以降は出場歴がなく、無事出走の運びとなれば約7年半ぶりの江戸川参戦。正直ハンデは大きい。その他注目選手は、遠征勢最強の当地巧者・平尾崇典。11月の一般戦では6戦全勝の完全Vも達成している。前田将太、若林将、坪井康晴、岡村仁も大会制覇歴ありだ。

## 展望

モーターは5月使用開始で、すでに約8か月分の機歴がある状態。4強モーターは23、61、51、34号機。エース格は長らく23号機とされていたが、正直直近の出方はレース足を中心に上位ではあるが、エース機と言われればやや物足りない印象もある。秋口に入ってから噴き上がりでは61号機と51号機が勝っている。61号機はやや直線寄り、51号機はレース系だ。34号機は特化した脚質パーツはないが、初降ろしから上位で安定しているのが魅力のモーターだ。水面状況だが、1月は北風の向かい風も多く波水面になるケースも多い。波風の巧拙はホームページの予想サイトにも記載されているのでご参考に。

## 水面・モーター

冬場の江戸川開催は水面との戦いになるケースが多い。当節は14〜16日までが大潮。17〜19日が中潮という潮周り。節中盤までは午後の時間帯に上げ潮の時間が長く入るため、予選中は季節風の北強風が吹くと潮流と風がぶつかり厳しい水面状況になるケースも多そう。石渡、平尾の波乗り2強に加え、岡村、山本寛久や、水面慣れしている福来剛、渡邊雄朗ら地元の波巧者達が勇躍する可能性もある。水面状況は最重要チェック事項だ。ちなみに天気予報で風速を見る際だが、レース場は河川で風の通り道となるため一般の江戸川区の予報より強く吹くケースが多い。予報より2〜4m増しで予報は参考にしたい。

(野添)

## 今節のキモ

G I #03 江戸川 1/14~19

### 江戸川大賞 (69周年)

予想 本誌 江戸川	選手名	支部	期	勝率	近況	当地		
						勝率	優出	優勝
△ ◎	石渡 鉄兵	東京	74	6.66	↓	8.14	10	4
○	瓜生 正義	福岡	76	7.61	↘	6.50	0	0
△ ◎	平尾 崇典	岡山	78	6.88	↗	7.69	5	2
	山本 寛久	岡山	79	6.29		6.95	5	0
◎ ○	池田 浩二	愛知	81	8.08	↗	0.00	0	0
	中澤 和志	埼玉	82	7.64	↓	7.16	5	2
	坪井 康晴	静岡	82	7.16		7.60	3	0
	中島 孝平	福井	84	6.84		6.35	0	0
	杉山 正樹	愛知	87	6.70		6.72	1	1
	寺本 重宣	東京	87	5.46	↓	5.86	1	0
△ △	福来 剛	東京	87	6.98	↓	6.94	6	1
	長野壯志郎	福岡	90	6.91	↘	5.80	0	0
	森定 晃史	岡山	90	6.86	↘	6.76	2	0
	長田 頼宗	東京	93	6.66	↘	8.13	4	1
	福田 浩二	兵庫	94	7.08	↘	6.65	1	0
	古賀 繁輝	佐賀	94	7.22	↓	7.74	4	0
△ ×	岡崎 恭裕	福岡	94	6.88		7.47	1	0
	山田 哲也	東京	95	6.70		5.94	1	0
×	岡村 仁	大阪	95	6.45		7.00	2	1
	若林 将	東京	96	6.45	↑	6.89	7	1
	平本 真之	愛知	96	7.03	↘	7.12	1	0
	谷野 鍊志	静岡	96	7.12	↓	4.86	0	0
○	新田 雄史	三重	96	7.31	↓	6.94	0	0
△	池永 太	福岡	97	7.10		6.73	3	0
	山口 達也	岡山	97	7.04	↓	7.40	6	2
	松田 祐季	福井	98	6.60		6.44	3	1
	西村 拓也	大阪	98	6.27	↑	7.19	4	1
	小林 泰	東京	99	5.55	↑	6.66	5	0
	坂元 浩仁	愛知	99	6.70	↘	6.86	2	1
	末永 由染	岡山	100	6.41	↘	5.59	1	0
	片岡 雅裕	香川	101	6.58		6.53	2	1
	平田健之佑	三重	101	5.58	↑	6.56	1	0
	尾嶋 一広	兵庫	101	6.25	↗	6.88	1	0
△	山田 康二	佐賀	102	7.12	↗	7.02	1	1
△	前田 将太	福岡	102	7.45	↗	7.94	2	2
	重木 輝彦	兵庫	104	6.29	↘	6.70	2	0
×	磯部 誠	愛知	105	7.26	↓	6.00	2	0
	岩瀬 裕亮	愛知	106	6.44		7.29	2	0
×	島村 隆幸	徳島	109	7.15		7.92	5	2
	永井 彪也	東京	109	6.58	↘	6.57	1	1
	中村 晃朋	香川	111	6.63		5.68	0	0
×	渡邊 雄朗	東京	112	6.77	↘	6.73	5	0
	山田 祐也	徳島	112	6.76		5.60	2	0
	松井 洪弥	三重	114	6.89	↓	7.10	2	0
	井上 一輝	大阪	114	7.01	↘	7.06	5	1
	権藤 俊光	大阪	115	6.94	↗	7.21	3	1
×	佐藤隆太郎	東京	115	7.46	↓	7.76	3	2
	仲谷 颯仁	福岡	115	6.63	↗	7.00	0	0
	小池 修平	大阪	117	7.52	↓	6.84	2	0
	畑田 汰一	埼玉	122	6.56		6.28	1	0
×	飛田 江己	埼玉	128	6.53		5.46	2	2
	西岡 顕心	香川	129	5.31	↑	5.11	0	0

2024年02月27日~03月04日

着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	×	④	湯川 浩司	4	09
2		⑥	小池 修平	6	11
3	◎	①	杉山 裕也	1	19
4	△	③	長田 頼宗	3	07
5		⑤	佐藤 大佑	5	12
6	○	②	坪井 康晴	2	13
2連単 ④-⑥			4600円	20番人気	差し
3連単 ④-⑥-①			18870円	78番人気	



前回結果

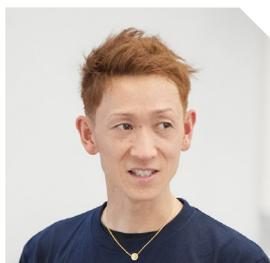
## 原田幸哉&瓜生正義が二枚看板 初タイトルを狙うのは佐藤翼



原田幸哉



瓜生正義



佐藤翼

**展望**

原田幸哉、瓜生正義の76期SG覇者コンビがトップか。原田は長崎支部のエースとして優勝がターゲット。25年は巻き返しの年と位置づけて新年から飛ばす。24年のグランプリ(GP)に出場した瓜生は12月に福岡周年を制するなど『選手会代表』という忙しい立場でも水面での強さは健在だ。大村ではGIとGII V歴もある。初のGP出場を果たした佐藤翼は、そろそろタイトルが欲しいところ。地元では原田のほか、24年にGII初優勝を飾った下條雄太郎や、GPシリーズに出場した桑原悠の活躍も期待される。他にも篠崎仁志、羽野直也、辻栄蔵、丸岡正典、長田頼宗らが実績上位だ。

**水面・モーター**

インが強い水面というのは周知の通り。温水パイプが着くと伸びの差が縮まり、よほど早いスタートを決めるか足の差がなるとまくりは決まりづらい。対岸からの横風が強い日の多い冬場は3コースが狙い目だ。モーターは昨年6月から使用され、エースは32。B級が乗ってもパワフルだし、A1級が乗ると全部の足が上位に仕上がるとも双壁だ。オーシャンCでは山口剛が予選トップだったのをはじめ、11月にはB1級の山口晃朋が初優勝。温水パイプが着いた11月末のミッドナイトでは西館健がデビュー2度目のVを飾った。どちらも節一だった。23、27、36、47、48、52、69も上位機だ。

**今節のキモノ**

前回(23年4月)は宮地元輝が優勝したが、その前は佐々木完太、椎名豊が特別戦初優勝を飾ったほか、中越博紀、青木玄太らも優勝者として名を刻んでいる。つまり、今年もニューヒーロー(ヒロイン)誕生の可能性もある。また、女子は3選手が出場を予定しており、いいエンジンを引きいたら軽量も手伝ってパワフルな舟足になるはずだ。小野生奈は豪快なターンが楽しみだし、今井美亜も魅力。そして、1月からA2級に上がった山口真喜子がさっそく特別戦に初挑戦。あの豪快なターンが、男子の一流どころにどれだけ通用するのかも楽しみ。今年は大村でクイーンズが開催。さあ、腕試しだ。(報知・長谷)

2023年4月12日~4月17日					
着	人気	枠	選手名	コース	ST
1	○	②	宮地 元輝	2	08
2	△	③	下條雄太郎	3	06
3	◎	①	椎名 豊	1	03
4	×	⑤	前田 将太	5	11
5		④	宮本 夏樹	4	12
6		⑥	坪口 竜也	6	14
2連単 ②-③			7660円	11番人気	差し
3連単 ②-③-①			11750円	25番人気	



前回結果

GII	#24	大村	1/27~2/1
<b>モーターボート誕生祭</b>			

予想	選手名		支部	期	勝率	近況	当地			
	本誌	大村					勝率	優出	優勝	
		大場 敏	静岡	67	A2	5.47	↑	6.19	1	0
		室田 泰史	福井	69	A2	5.47		6.33	1	0
		石渡 鉄兵	東京	74	A1	6.66	↓	5.48	0	0
	△	辻 栄蔵	広島	74	A1	6.68	↗	7.27	1	0
◎	◎	原田 幸哉	長崎	76	A1	7.03		7.84	10	2
○	◎	瓜生 正義	福岡	76	A1	7.61	↘	7.27	1	0
		飯山 泰	東京	81	A1	6.37	↓	3.80	0	0
		山口 裕二	長崎	81	A2	5.67	↘	6.18	4	1
		谷村 一哉	山口	82	A1	6.35	↓	6.53	1	0
	△	秋山 直之	群馬	83	A2	7.53	↑	6.19	0	0
		表 憲一	福井	84	A2	5.48		5.47	0	0
×		山本 隆幸	兵庫	85	A1	6.39		6.78	2	1
△		丸岡 正典	大阪	85	A1	6.57		6.47	0	0
		松井 賢治	兵庫	86	A2	5.69	↗	5.45	0	0
		東本 勝利	三重	86	A1	6.25		6.95	2	0
×		中野 次郎	東京	86	A1	6.75	↘	6.17	0	0
		池田 雄一	静岡	88	A2	5.92	↘	6.45	0	0
		榎 幸司	長崎	90	A2	6.02	↘	6.33	6	0
		安達 裕樹	三重	92	A1	6.41		6.50	0	0
×		松村 敏	福岡	92	A1	7.29		7.07	8	2
×		長田 頼宗	東京	93	A1	6.66	↘	6.88	0	0
		西野 翔太	広島	95	A1	6.43	↗	6.83	1	0
△	○	海野康志郎	山口	95	A1	7.00	↗	6.72	1	1
△	○	下條雄太郎	長崎	96	A1	7.10	↓	7.25	11	1
		長岡 良也	兵庫	97	A1	6.33	↘	5.24	1	0
△		山口 達也	岡山	97	A1	7.04	↓	7.21	1	0
		是澤 孝宏	滋賀	98	A1	6.31		6.78	1	0
		坂元 浩仁	愛知	99	A1	6.70	↘	8.30	1	1
△		秦 英悟	大阪	100	A1	7.17		7.47	1	0
		新田 泰章	広島	101	A1	6.73	↓	5.94	1	0
△		篠崎 仁志	福岡	101	A1	7.09	↓	7.24	1	1
△		桑原 悠	長崎	102	A1	6.82	↘	7.36	10	5
×		上條 嘉嗣	大阪	102	A1	6.84	↗	6.72	1	0
×		小野 生奈	福岡	103	A1	6.53		5.67	0	0
△	×	渡邊 和将	岡山	103	A1	6.55	↗	7.00	1	0
△	△	中田 竜太	埼玉	104	A1	6.47	↑	7.57	2	1
○	○	佐藤 翼	埼玉	105	A1	6.91	↗	7.56	0	0
		森野 正弘	山口	106	A1	6.90	↘	6.16	2	0
		今井 美亜	福井	106	A2	5.87		4.00	0	0
		上村 純一	群馬	108	A2	6.21	↗	5.54	0	0
		三浦洋次朗	愛知	110	A2	5.61	↗	5.15	1	0
		白神 優	岡山	110	A1	6.47		6.06	2	0
		松尾 充	三重	112	A1	6.23	↓	5.33	0	0
△		羽野 直也	福岡	114	A1	6.85	↘	7.37	0	0
△	△	仲谷 颯仁	福岡	115	A1	6.63	↗	6.83	3	0
		金児 隆太	群馬	117	A2	6.08		5.89	0	0
		若林 義人	静岡	122	A1	6.36	↓	0.00	0	0
		金田 智博	福井	122	B1	5.33		6.61	1	0
		木下 雄介	滋賀	123	B1	5.11	↘	5.95	0	0
×		前田 滉	愛知	123	A1	6.71		5.89	0	0
		穴 山口真喜子	長崎	126	B1	4.96	↑	5.53	3	0
		飛田 江己	埼玉	128	A1	6.53		7.42	1	1